

緊急時避難不能、核ゴミ処理不能—すべての原発を廃炉へ！

佐藤英行 岩内町議会議員

『泊発電所周辺地域原子力防災計画』は、泊村、共和町、岩内町、神恵内村で組織された泊発電所原子力防災協議会が作成。これは、原子力規制委員会の指針に基づいてまず国が作成し、北海道がそれに基づき作成、地元4町村がそれに従うという手順で作られたものです。

緊急時の対応について、PAZ（5キロ圏内）は、①バスによる避難（集合場所に集合）、②自家用車の場合、消防職（団）員警察官等の指示により決められた避難経路により移動、③地区ごとの集合場所に集合後航空輸送や海上輸送により避難。UPZ（5～30キロ圏内）は、UPZ圏内の避難が完了するまで屋内退避しその後①バス②自家用車③空路・海路で避難となっています。

今回の能登半島地震でこれらの計画が画餅であることが白日の下に晒された。「原子力災害対策指針」の崩壊です。

高レベル放射性廃棄物（核ゴミ）の最終処分場を選ぶ第一段階の「文献調査」は2020

年11月から寿都町と神恵内村で行われ、3年以上が経過した2月13日に「文献調査報告書（案）」が公表されました。これに先立ち、昨年10月30日に300人を超える地球科学の専門家が「世界最大級の変動帯の日本に地層処分の適地はない—現在の地層処分計画を中止し開かれた検討機関の設置を」と声明を出しました。科学的根拠に乏しい最終処分法は廃止し、地上での暫定保管を含む原発政策の見直しを視野に地層処分ありきの従来の政策を再検討すべき、と提言しているのです。

原発推進政策のアキレス腱である核ゴミ最終処分を急ぐ政府は、寿都町、神恵内村を交付金で筆絡し、全国からの候補地選びの水先案内人的役割を負わせました。しかし時間稼ぎをしながら新たな候補地選びを進めるも、政府の旗に乗る自治体は現れません。科学的見地から警鐘を鳴らし続けている専門家からの提言を無視し続けています。

5層の深層防護での避難不能、トイレのないマンション、すべての原発を廃炉に！！

原発やめようニュース 反原発自治体議員・市民連盟

NO. 47 2024年3月

能登半島地震は「原発は動かすな！」の警告 原発の稼働とめよう

石川県能登半島珠洲市付近を震源とする大地震は、地滑りや家屋倒壊など甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

能登半島地震で志賀原発が深刻な事態に

今回の地震を発生させた断層は、北東・南西に伸びる150キロ程度の南東傾斜の逆断層とされ、これまで知られていませんでした。震度7の羽咋（はくい）郡志賀町にある志賀原発1.2号機では、燃料プールから水があふれ燃料プールに給水するポンプが一時停止。使用済み核燃料の冷却に使う変圧器が壊れ、1万9800リットルの油が漏れ、外部から受電する系統の一部が使えなくなり、別の系統から電源を確保するというきわどい状況になりました。震度6弱の新潟県長岡市でも、柏崎刈羽原発では2.3.4.6.7号機の燃料プールから水があふれたと報告されています。

大地震の原発事故では避難は不可能

この大地震で志賀原発周辺の道路は寸断され、輪島方面と金沢を結ぶ「のと里山街道」も寸断。避難誘導に欠かせない放射線測定のためのモニタリングポストのうち、原発北側の15—30キロ付近に設置したものが測定不能になりました。原子力災害対策指針がしめす5キロ～30キロ圏の屋内退避は、家屋の倒壊などで絵に描いた餅であることが明らかになりました。震源地近くの珠洲原発が建設さ

反原発自治体議員・市民連盟

共同代表 佐藤英行（岩内町議会議員）
福土敬子（元東京都議会議員）
武笠紀子（元松戸市議会議員）
野口英一郎（鹿児島市議会議員）

〒168-0072

東京都杉並区高井戸東3-36-14-301

TEL/FAX 03-3317-0356

郵便振替 00110-7-449067

れ、志賀原発や柏崎刈羽原発が稼働中であれば大惨事になっていたかもしれません。

能登半島地震から学び、再稼働とめよう

志賀原発は敷地内の活断層が指摘されながらも、北陸電力が2022年に実施した現地調査の結果、活断層ではないと主張したことに對し、規制委員会は翌年3月その主張を認めています。この活断層評価が間違いであったことや、地盤が隆起する事態を前にして、どのような安全対策をとっていても全てが無効だということが浮き彫りになりました。

原発推進関連法に従い、今年は8月に島根原発2号機、9月に女川原発2号機、9月以降に東海第二原発と、いずれも福島第一原発事故後初の沸騰水型の再稼働が予定されています。原発立地の人々が呼びかける、再稼働に反対する集会に全国の力を集中しましょう。

4 反原発自治体議員・市民連盟 第14回総会・記念講演

期日：4月20日（土）14時～16時半

場所：東京都生活協同組合連合会館

（JR中野駅徒歩6分/丸の内線新中野駅徒歩8分）

記念講演：上岡直見さん 環境経済研究所

『能登半島地震と原子力防災—

「原子力災害対策指針」の崩壊』

参加費：500円・会員は無料

◎オンライン開催

申込先：hangen-jgs@googlegroups.com

※姓名に「オンライン希望」と記し、ご氏名・ご住所・メールアドレスをお願いします

090-5497-4222・Fax 03-3317-0356



7日—8日 第8回『福島を忘れない全国シンポジウム・現地視察』ご案内

7月7日（日）全国シンポジウム 13時半～16時 於福島グリーンパレスホテル
※バス（定員 47人） 7時30分新宿発

シンポジウム報告予定

- ◎ 全体状況と川俣町山木屋地区の現状について 菅野清一 川俣町議会議員
- ◎ 飯舘村の現状について 横山秀人 飯舘村議会議員
- ◎ 浪江町の現状について 馬場積 元浪江町議会議員
- ◎ 大熊町について 木幡ますみ 大熊町議会議員

8日（月）現地視察

◎ バスでホテルを出発 7時30分→川俣町山木屋地区→飯舘村→浪江町津島地区→請戸海岸→伝承館見学→新宿（19時半着予定）

費用：30,000円（ホテル代 朝食あり・ガソリン代などの高騰。夕食会はありません）

※今回はバス1台のため定員に限りがあり、お申し込みは先着順とします。

参加費の振り込みで予約完了です。キャンセルは、6月23日までとします。

電話：090-5497-4222

郵便振替：00110-7-449067(加入者 反原発自治体議員・市民連盟)

3・23 STOP! 女川原発再稼働全国集会の大結集で2号機再稼働止めよう！ 仙台市勾当（こうとう）台公園 午後2時→3時アピール行進出発

老朽化した被災原発再稼働の危険性

東北電力は2月19日、安全対策工事の遅れから、今年5月に予定していた女川原発再稼働を9月に延期すると発表しました。女川原発は老朽化し、基準地震動を上回る地震に見舞われ、原子炉建屋で1千力以上のひび割れが見つかった被災原発です。再稼働の危険性は明らかです。

能登半島地震によりこれまでの原子力災害対策は全面崩壊しました。巨大地震の震源域に近い女川原発に、将来どのような規模の地

震や津波が襲うか予測できません。石巻市民が訴えた裁判では、「今の避難計画では逃げられない」と立証されました。再稼働は何としても止めましょう。仙台市内を長蛇のアピール行進で、再稼働反対の民意を示しましょう。



9月再稼働予定の
女川原発2号機

島根原発2号機の再稼働を止めよう

福島原発事故から13年が経過する中、岸田政権は、再稼働はもちろんのこと、長期運転を許し、新型炉なども進めようとしています。島根県知事も「苦渋の決断」としながら再稼働を容認してきました。国、自治体のこのような姿勢の中で、中国電力は8月には2号機の再稼働を行うことを表明しています。

しかし、その再稼働を思いとどませようとするかのように、1月1日に石川県能登半島でM7.6最大震度7の地震が発生しました。この地震は島根原発を目の前にして暮らす多くの住民を凍り付かせたに違いありません。能登半島北端沖を走る複数の断層が150kmに亘って連動したこと、このことを北陸電力が評価できていなかったことは、そのまま島根原発でも問われなければならない問題です。また、

さよなら島根原発ネットワーク 芦原康江

家屋倒壊や道路の損壊で屋内退避も避難することも不可能となる事態を、今回の地震は私たちに突きつけてきました。島根原発直近の地震でも、多くの住民が避難できず、被ばくを強いられる事態を招くことを容易に想像することができます。

私達は、このまま島根原発を再稼働させるわけにはいかないと、強く思います。8月の再稼働を止めよ！と、更に声を上げていきたいと思っています。



昨年10月26日中国電力島根支店前でランチタイムアピール

繰り返す大地震 “地震の巣” に建つ東海第二原発再稼働の危険！ 連盟事務局

東海第二原発は判明した防潮堤工事の施工不良で、安全対策工事の9月完了は遅れることになりました。日本原電は、安藤・ハザマなどのJV（共同企業体）が施工している防潮堤の基礎に施工不良の対応策をまとめ、コンクリートの未充填箇所の一部で補充を見送り、鉄筋の追加で強度を確保すると発表。しかし

北側基礎が下の岩盤まで届いていない問題の対策は示されていません。茨城県沖は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で、M6.7ー7.2の地震が繰り返し発生し、加えて県南西部は地震の巣と呼ばれています。このような場所に原発を建てること自体が誤りです。能登地震を受け、東海第二原発は止めましょう。

“能登沖地震に震撼！ 危険と隣り合わせの若狭の原発再稼働にNOを” 3. 31「老朽原発ただちに廃炉！美浜全国集会」へ 若狭の原発を考える会 木戸恵子

今若狭の原発を巡って、大阪高裁および福井地裁で「原発運転差し止め」を求める3件の仮処分裁判がおこなわれています。決定(判決)は3月中です。運転差し止めの決定が出れば、当該の原発は即時停止となります。決定を受けて開催する3月31日「老朽原発ただちに廃炉！美浜全国集会」にご参加ください。

能登半島地震でピラマキの反応に変化

老朽原発うごかすな！実行委員会は、1月～2月、若狭を中心にアメーバデモ(反原発を訴えるチラシの各戸配布行動)に力を入れて取り組んでいます。毎月5回、チラシ25,000枚、関西から延べ51名が参加。今年元日の能登半島大地震の後、明らかに住民の反応が違います。原発立地地元でも「今までにない揺れで長かった、原発はやめなあかん」、「地震で原発事故が起これば避難は無理やな」。また、配り終えて路地を歩いているとすれ違いざまにわざわざ引き返して「チラシをちょうだい」と取りに来る方、志賀町から直線距離で204km離れた小浜市でも「立ってられないほど揺れた、原発が怖い」、「車で逃げたが渋滞がひどかった」と多くの方が話しかけてくださいました。

大阪高裁前で原発運転差し止めを訴え

さらに「原発運転差し止め」の決定(判決)が3月中に出ることから、2月6日と28日に、朝8時から大阪高裁の東門、中央門、西門前に分かれて、『大阪高裁は「老朽原発・美浜

3号機の運転差し止め」決定を！』『原発は、地震に脆弱です』を訴えるチラシを、横断幕を持ち、マイクで訴えながら、出勤して来る職員や弁護士に配布しました。「ありがとう」と言って受け取る法曹関係者と思われる人が複数ありました。

3月31日大阪・京都駅からバスを配車

3月31日美浜全国集会は、2006年3月、志賀原発2号機を止めた元裁判長、井戸謙一弁護士から仮処分の報告を受け、「珠洲原発の建設を止めた闘い」について北野進さん(志賀原発を廃炉に！訴訟原告団長)からお話をいただきます。井戸謙一弁護士は「市民のたゆまないそして大きな行動が裁判を押し上げる」とおしゃっています。京都、大阪、名古屋、神戸、奈良、滋賀からそれぞれバスを出します。ぜひ、ご参加ください。

6月9日は大阪市内で反原発大集会開催

昨年の12.3集会に続き、6月9日(日)、「とめよう！原発依存社会への暴走、大集会」を大阪市内で開催します。ご予約ください。



昨年12月3日の大集会には大阪で1600人が参加



31日(日) 老朽原発ただちに廃炉！美浜全国集会

日時：3月31日(日) 12時半

会場：はあとホール（美浜町保健福祉センターはあとピア1階）

※ 集会後に、原子力事業本部に向けてデモ



9日(日) とめよう原発依存社会への暴走！大集会(in大阪)

日時：6月9日(日) 午後 大阪市内で集会・デモ